



平成29年度

医療通訳の取り組み

～外国人が安心して医療を受けられるための環境整備～

共催：一般財団法人自治体国際化協会 (CLAIR) 全国市町村国際文化研修所 (JIAM)

在留外国人や訪日外国人の増加により、医療機関における外国人患者受入体制の整備が重要な課題となっています。医療場面において異なる言語や文化を持つ医療従事者と外国人患者の間で意思疎通を成立させるには、医療通訳の導入が一つの有効な手段となります。

この研修では、外国人医療を巡る様々な課題について幅広い視野を持ちながら、地域における医療通訳体制の整備や医療機関における国際医療を推進することができる人材の育成を図ります。

研修のポイント

- 外国人医療を取り巻く諸課題(言葉、文化、医療費等)について理解を深める。
- 医療通訳の果たす役割と意義を学ぶ。
- 地域の実情に応じた外国人医療の施策立案・事業展開ができる能力を身につける。
- 医療通訳に関する基礎的な知識を修得する。
- 医療通訳の派遣体制整備について先進事例に学ぶ。

開催要領

日程 平成30年2月21日(水)～2月22日(木) (2日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 医療通訳の環境整備を実施または検討する市区町村および都道府県、または、地域国際化協会、国際交流協会、市区町村等行政機関が推薦するNPO・NGO、医療機関・団体の職員

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※議員の方も参加可能ですが、市区町村職員等を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください
(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、お申込みは必ず議会事務局を通じてお願いします。

募集人数 30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 4,900円 ((一財)自治体国際化協会からの助成対象外の方は 7,300円)

上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食2回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成30年1月9日(火)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

NPO、NGOの職員の方がお申しいただく場合は、受講推薦書が必要になります。

受講推薦書はJIAMホームページの書類様式集からダウンロードしてください。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集 (<http://www.jiam.jp/doc/>) に掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp 【ホームページ】 <http://www.jiam.jp>

平成30年

2月
21日(水)

- 11:00 ~ 12:00 **入寮受付・昼食**
- 12:30 ~ **開講・オリエンテーション**
- 13:00 ~ 14:10 **講義 外国人の医療・保健・福祉について**
甲南女子大学看護・リハビリテーション学部 教授 中村 安秀 氏
医療現場における通訳士のニーズと現状や課題についてお話しいただきます。
- 14:25 ~ 15:35 **講義 医療機関で必要とされる多言語対応と医療通訳**
講師調整中
- 15:50 ~ 17:00 **講義 医療通訳者の活動とは**
医療通訳研究会(MEDINT) 代表 村松 紀子 氏
医療通訳者の視点から、医療通訳者の役割、現場における活動の実態と課題についてお話しいただきます。
- 17:30 ~ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成30年

2月
22日(木)

- 9:00 ~ 9:50 **事例紹介 佐賀県における医療通訳サポーター事業への取り組み**
公益財団法人佐賀県国際交流協会 企画交流課長 矢富 明德 氏
- 10:00 ~ 10:50 **事例紹介 群馬県における医療通訳体制整備について**
特定非営利活動法人群馬の医療と言語・文化を考える会 代表理事 山口 和美 氏
- 11:00 ~ 11:50 **事例紹介 電話通訳の導入と活用事例について**
株式会社ブリックス 代表取締役社長 吉川 健一 氏
- 11:50 ~ 12:00 **医療通訳体制整備への支援について**
一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR/クリア)
- 13:00 ~ 15:00 **演習 外国人が安心して医療を受けられるための環境整備**
甲南女子大学看護・リハビリテーション学部 教授 中村 安秀 氏
アドバイザー:公益財団法人佐賀県国際交流協会 企画交流課長 矢富 明德 氏
アドバイザー:特定非営利活動法人群馬の医療と言語・文化を考える会 代表理事 山口 和美 氏
アドバイザー:株式会社ブリックス 代表取締役社長 吉川 健一 氏
アドバイザー:医療通訳士協議会 事務局長 小笠原理恵 氏
それぞれの地域における外国人医療を良くするための具体的なプランを作ります。
- 15:00 ~ 15:30 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

講師紹介



本研修は全日程を、甲南女子大学看護・リハビリテーション学部教授・医療通訳士協議会会長 なかむら やすひで 中村 安秀 氏にご指導いただきます。

東京都立病院小児科、保健所医師、東京大学医学部小児科、大阪大学大学院人間科学研究科などを経て、2017年4月より現職。国際協力、保健医療、ボランティアをキーワードに、学際的な視点から市民生活に役立つ研究や教育に携わる。医療通訳士に対する適正な報酬と身分保障のための活動を行うことを目的に2009年2月「医療通訳士協議会」を設立するとともに、保健医療分野に精通したプロフェッショナルな医療通訳士の技術向上を目指す活動を行っている。2011年7月には医療通訳士に求められる「医療通訳士倫理規程」の策定に関与するなど、医療通訳士のさらなる専門性の向上、認知度向上のための活動を行っている。

(一財)自治体国際化協会が下記のとおり助成します。

- ① 地方公共団体に属する職員 研修費(2,400円)を助成
- ② 地域国際化協会、市町村(特別区を含む)の国際交流協会に属する職員
・地方公共団体や地域国際化協会と協働して多文化共生等の事業展開に取り組むNPOまたはNGOで、地方公共団体又は、地域国際化協会から推薦を受けた団体に属する職員
研修費(2,400円)及び往復交通費の全額を基準とした額を助成

※詳しくは(一財)自治体国際化協会(CLAIR)多文化共生部多文化共生課までお問い合わせください
TEL:03-5213-1725 FAX:03-5213-1742
ホームページ: <http://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/index.html> E-mail: tabunka@clair.or.jp

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。